

資源がない！？人材がない！？資金がない！？

どんな限界集落にも使える

フットパスによるまちづくりの公式



フットパス導入を考えてみようと思われる自治体やNPOの皆さんのために、「みどりのゆび」が10年蓄積してきた経験からノウハウと思われるものをマニュアルにしてみました。お役に立てば幸いです。これ以後のノウハウの開発は「日本フットパス協会」の皆様と共に今後蓄積していきたいと願っております。

NPO法人「みどりのゆび」事務局長 神谷由紀子

yo 資源がない？人材がない！？資金がない！？

どんな限界集落でも使える

## フットパスによるまちづくりの公式

### ● まえがき

- フットパスとは何か 1
- 不安ばかりの日本 1
- 解決への糸ロ-フットパス 2
- フットパスの活性化力 3

### 〔概 論〕

### ● 本論

- 活性化したまち、小野路 5
- 活性化とは何か--地域の意識変革 7
  - 生まれる地元の誇りとまちづくりへの意識変革 7
  - 活性化のメカニズム 8
  - フットパスの魔力 9
  - 行政とNPOのペアで 9
  - 深まる自治体間の交流 12
- 持続可能社会のモデル都市---25のフットパスコースを持つ町田 13
  - 成熟社会の先進都市 13
  - ポケモンのふるさと 13
  - 環境先進都市の理由 14
- 売れるマップ 15
  - 書店レジ前横積みで何千冊も売れる「多摩丘陵フットパス・マップ1」 15
  - マップの売れる秘密 16
  - コース選びのセンス 17
- フットパスとは 18
  - イギリスのフットパスとその歴史的背景 18
  - 年間30億円のフットパス効果 19
  - 日本のフットパスの出現は歴史的必然性 21
  - フットパスは成熟国歌の象徴 22

## [ 実践編 ]

○ フットパスによるまちづくりの公式	25
➤ フットパスは安価で手軽で失敗しないまちづくり—まずやってみよう	25
➤ どんなまちにもフットパスは作れる	25
➤ 何の資源も持たない地域のほうが成功する	26
➤ 自分のまちを自慢し合おう	26
➤ フットパスはテーマのない歩き	26
➤ フットパス・コースの選び方が成否の鍵—センスが勝負	26
➤ フットパスに適した道—景観は本当に大事なのです	27
➤ フットパスに適した道—土の道	27
➤ 楽しくなきゃフットパスじゃない！	28
➤ マップは必需品	28
➤ リーダーを作ろう	
—そのまちを愛する人、そのまちの歴史や自然を愛する人	29
➤ 小さくてもいいので地元のための現金収入獲得策を考える	29
➤ 地産地消の範囲で考える—地域を主体に	30
➤ 若い人や都市住民が暮らせる環境を作る	31
➤ 近くの地方都市を魅力的に再建する—地方都市再開発のチャンス	31
➤ 地域と地域のフットパスを介したネットワークを作ろう	31
➤ 交通ネットワークを作る	31
○ フットパスを作ってみよう	32
第一段階	
① 全体計画を作る	32
② フットパス・コースを作る	32
③ フットパス・マップを作る	34
④ フットパス・サインを整備する	34
⑤ フットパス・ウォークを開催する	36
第二段階	
⑥ おもてなしの体制を整える	37
⑦ フットパス・拠点を整備する	38
第三段階	
⑧ その地域の活性化の方向を考える—農業と商業	38
⑨ 担当者を募集する	38
⑩ 都市住民の導入計画を立てる	39
⑪ 地産地消の生活圈を作る	
—都市住民や若い人を巻き込んで高自給率の経済圏を作る	39

○ 日本フットパス協会の役割	39
➤ お金儲けのための団体ではない	39
➤ 会費	40
➤ フットパスによるまちづくりのノウハウおよび人材を提供	40
➤ 「日本フットパス協会」の活動内容	40
➤ ネットワーク組織---会員は対等、リーダーは世話人	41
➤ 自分の地域を自慢できる会	42
➤ 資産を持つ組織	42
●あとなぎ	44

添付資料：長井市から：「最上川フットパスを活用した地域の魅力づくり」

甲州市から：「ぶどうとワインのまちのフットパス-勝沼での試みと可能性」

黒松内町から：「町民と役場の共同作業から生まれた黒松内のフットパス」

NPO法人「みどりのゆび」概要